

# 前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第88号

H29. 2. 21

## よりよい生活のため、メディアと上手につきあおう

～『前芝学校』の自慢、子どもたちと、家庭・地域が一体となって～

1月27日（金）午後、中学校音楽室で『前芝学校学校保健委員会』を開催しました。年に一回開催するこの前芝小中合同の保健委員会は、10年ほど前から行ってきました。一昨年は、校区の民生委員さんや、PTAの皆さんが参観してくださいました。そして、昨年度からは小中学生のグループの話し合いに民生委員さんやPTA役員さんが参加し、子どもたちと意見交流をしてくださっています。

**初めに**、家庭でのメディア使用や生活習慣の調査結果を、小中の保健委員が発表しました。調査結果からは、家庭で過ごす時間のほとんどがメディアに触れており、それと同時に課題や食事をする生徒が多いという実態がわかりました。スマートフォンなどでインターネットを使用する調査では、1年生が心配な状況で2時間以上の生徒が53%もいました。さすが3年生は、インターネット使用時間もLINEをする時間も最も少なく、特にLINEが30分以内という生徒が74%を占め（1時間以内でも、93%）、「受験を意識して勉強に集中している」「意志を強くもっている」「友だちとともにルールを守っている」などお手本となる様子が表れていました。



**次に**、小中保健委員、生徒会役員、民生委員さん、PTA役員さんでグループをつくり、話し合いをしました。テーマは①生活アンケートの結果から見えてくるメディア利用の問題点②それぞれの立場から考えるメディアと上手につきあうための工夫でした。大人も交えた中で緊張しながらも自分の言葉で意見をいう姿、地域の大人の意見をうなずきながら素直に聞く小中学生の姿、みんなの意見を引き出しながら話し合いを進める生徒会役員の頼もしい姿、にととても感心しました。

**そして**、グループごとに話し合われたことを、代表生徒が堂々と発表してくれました。それぞれの班のリーダー、**山川**さん、**石原**さん、**福島**君、**武田**さんは、よくまとめてとても上手に発表し、その姿に地域の方からも「中学生がとてもしっかりしており安心しました」などのおほめ言葉をいただきました。



**最後に**、小学校スクールカウンセラーの伊藤礼子先生から、映像を使って「メディアによる体・脳・心への影響」についてわかりやすいお話を伺いました。



この会で話し合われた内容が、全校生徒に浸透していくよう学校では後押ししていきます。まずは2月6日の月曜朝会で、保健委員会より「調査結果の報告」「グループで話し合ったこと」を発表し、『メディア使用の時間を家族で話し合って決めよう』『やるべきことの優先順位をつけよう』など発信してくれました。詳しくは2月9日発行の「ほけんだより」に掲載しましたので、子どもの健全育成のために、今回の内容をご理解いただき、保護者や地域の皆さんのお力で、前芝校区に広がっていくようご協力をお願いいたします。

# 中一53% ネット2時間以上

スマートフォンなどメディア機器の接し方や生活習慣を調査した豊橋市前芝小、中学校のアンケートで、インターネットを一日に二時間以上使っている割合は、小学六年で45%、中学一年で53%に上った。スマホなどの無料通話アプリ「LINE(ライン)」を一日三十分以上するのは56%を占め、浸透ぶりが明らかになった。

(阿部竹虎)



地域住民らと議論する児童、生徒＝豊橋市前芝中で

調査は昨年十二月、小学五年、中学三年の約二百人を対象に実施した。一月二十七日に小中合同の保健委員会が前芝中であり、委員の児童、生徒が結果を報告した。この他の項目では、LINEの利用率は中学生で六割、小学五、六年生でも五割近かった。一日にテレビやDVDを見る時間は小学五年で三時間二十分、中学二年で一時間四十四分だった。保健委員会ではグループに分かれ、児童生徒が地域住民らとも課題やメディア機器との接し方を議論した。民生委員の林吉子さん(五七)＝同市前芝町＝は「絵や音楽、本など、外に目を向けて体験してほしい」と助言。六年の石原渉夢君(三)は取材に「ご飯を食べながらテレビを見ないようにすれば、メディア機器に接する時間を短くできる。少しでも取り組みた

## 豊橋・前芝小中 5、6年半数LINE利用

い」と話した。前芝小のスクールカウンセラー伊藤礼子さん(三三)の講演もあった。伊藤さんは、わくわくしたり夢中になったりするとき、脳から大量に出る物質「ドーパミン」の影響を指摘。「大量に出続けると興奮状態になり、眠れなくなる。どうしてもゲームやスマートフォンを手放せない場合は、心がSOSを出しているかもしれない」と指摘し、早めの相談を呼び掛けた。敷地が隣接する両校は二〇一六年度に小中一貫の「前芝学校」として開校する前から、合同で保健委員会を開いている。一四年度からはメディア機器の接し方がテーマ。一五年度から「メールや通話は夜九時まで」「機器を使うのは勉強時間の四分の一」などとする「メディアルール」を掲げている。生活習慣を見直す機会にしようとして、「ノーメディア」に挑戦する期間も年二回設定。小学生は「ゲームは夜八時まで」「ごはんの間はテレビを見ない」などの宣言をカードに書き、実践している。中学生も、夕食時のみメディア機器を使わない「きびだんごコース」や、一日中使わない「ももたろうコース」などから自らの目標を決め、取り組んでいる。

### 〈中学生の感想〉

- 中学生と小学生は似たようなことを考えていたけど、そこに大人が加わることによって、私たちでは考えないような意見を聞くことができました。現在の子どもたちは下校後、メディアに接し過ぎていて、自分たちの趣味の時間や家族とのコミュニケーションがとれていないことに気づきました。スマホやテレビなど、便利な道具だからこそ、しっかり使い方を学ぶ必要があることが分かりました。今回の学校保健委員会で出た意見を活かして、メディアとつき合っていきたいです。(3年)

### 〈PTA役員さんの感想〉

- 今回の話し合いの内容を家庭や地域に広められるように、私も頑張ります。
- 中学校の子供たちがしっかり自分たちに向きあって、話し合いをしている姿を見て、うれしく思いました。私たち大人も見ならう点がいくつかありました。
- 私達が育ってきた時代よりメディアにかこまれて生活している子ども達が話し合う場をもつことは良い事だと感じました。親として改めてメディアについて反省する時間になりました。

### 〈民生委員さんの感想〉

- 「メディア」についての取り組みも3年目になると思いますが、今年の討議ではみなさんが真剣に話し合い、関心の高さがわかりました。これからも全体で取り組むテーマだと思うので、続けていって欲しいと思います。
- 大変充実した1時間でした。こうした委員会活動の“積み重ね”が子どもに“自律”をつくると思っています。子どもたちの成長ぶりを見てとてもうれしく思いました。